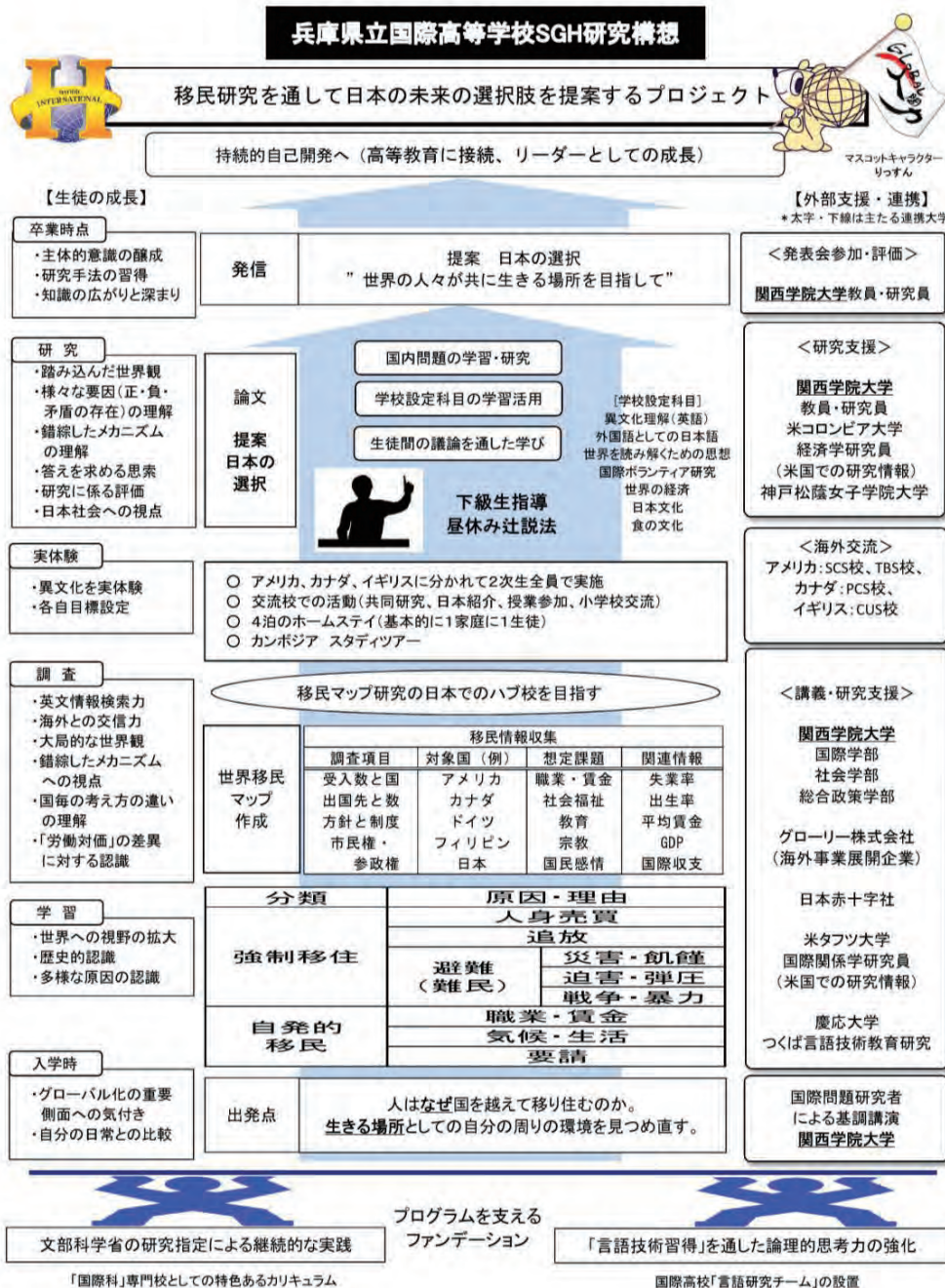


兵庫県立国際高等学校

移民研究を通して日本の未来の選択肢を提案するプロジェクト

【構想の概要】

移民研究と今日的な国内問題の学習を積み重ね、「世界の人々が共に生きる場所」としての日本の未来の選択肢を提案する活動を、3年間の課題研究として実施する。グローバル社会の課題は日本の国内問題と無縁ではない。人々が国を越えて移り住む理由や実情、それに伴う諸課題を、海外の事例やマクロ的なデータを通して学び、それを基に日本の未来社会に予測される課題を学習することで、この国の可能性、役割、ニーズ等を総合的に捉える研究を進め、グローバル・リーダー育成に資する教育プログラムとして完成させる。



兵庫県立国際高等学校 平成30年度実施教育課程表

兵庫県立国際高等学校

1年次 16回生(平成30年度入学生)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
L H R	総合英語						体育		保健		国語総合				現代社会		数学Ⅰ		数学A		化学基礎		家庭基礎		社会と情報		芸術選択		C.C.C.		
	総合英語A		総合英語B		DDD		国語総合(現代文)				国語総合(古典)														音楽Ⅰ、美術Ⅰ		#				

C.C.C.: Communication, Cultural Understanding, Contribution (総合的な学習の時間)

2年次 15回生(平成29年度入学生)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
L H R	英語理解		英語表現		体育		保健		現代文B (3年次へ継続)		芸術選択※		C.C.C.		数学Ⅱ		化学		物理基礎 (前期4)		物理 (後期4)		古典B (3年次へ継続)		世界地誌 (3年次へ継続)		数学B				
													【外国研究Ⅰ】 ドイツ研究Ⅰ フランス研究Ⅰ 中国研究Ⅰ スペイン研究Ⅰ 韓国・朝鮮研究Ⅰ イタリア研究Ⅰ		【地歴選択】 世界史B 日本史B (3年次へ継続)		数学Ⅱ		科学と人間 生活α		古典A 数学B		古典B (3年次へ継続)		【選択X】 (2年次限定) Discussion & Debate 世界を眺みたく ための原書		【選択Y】 (2年次限定) 数学B 世界を眺みたく ための原書				

※ 芸術選択:音楽Ⅰ、美術Ⅰ、書道Ⅰ 1・2年次継続履修

3年次 14回生(平成28年度入学生)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
L H R	英語理解		英語表現		体育		現代文B		古典B		世界地誌		世界史A		物理 生物		化学		数学Ⅲ		【選択A】		【選択B】		【選択CD】		【選択E】		【選択F】		
											世界史B		日本史A		【外国研究Ⅱ】 ドイツ研究Ⅱ フランス研究Ⅱ 中国研究Ⅱ スペイン研究Ⅱ 韓国・朝鮮研究Ⅱ イタリア研究Ⅱ		【選択A】 ドイツ研究Ⅲ フランス研究Ⅲ 中国研究Ⅲ スペイン研究Ⅲ 韓国・朝鮮研究Ⅲ イタリア研究Ⅲ		世界史探究 日本史探究		国語表現 国語探究 数学探究Ⅰ 数学探究Ⅱ 自然科学探究 フード デザイン		English for Qualifications Practical English II		3年次限定) 国語探究 異文化理解 世界の経済 応用科学		3年次限定) 国語探究 異文化理解 世界の経済 応用科学		3年次限定) 国語探究 異文化理解 世界の経済 応用科学		3年次限定) 国語探究 異文化理解 世界の経済 応用科学

※ **ゴシック解体**:国際科の専門科目

1 教育課程における課題研究活動の取組

1年次生全員が「C.C.C.」の授業（「総合的な探究の時間」）において、課題研究活動に取り組んでいる。具体的には、移民をテーマとしたディベートの実施、「移民マップ」の作成を行っている。2年次生全員も「C.C.C.」において、課題研究活動を行っている。具体的には、異文化理解をテーマに課題研究を行い、その成果をまとめ海外研修でプレゼンテーションを実施している。3年次ではグローバルリーダーコース（GL）の生徒が学校設定科目「提案日本の選択」において、課題研究の成果を論文としてまとめ発表する活動を行っている。

また、1年次の「社会と情報」、2年次の「言語技術」において、移民研究や論文作成のための授業を行っている。

1年次の「総合的な学習の時間（C.C.C.）」の時間では16人、2年次の「総合的な学習の時間」では10人の教員が担当している。本校の教員数は31人であり、ほぼ全員が課題研究活動に関わっている。

2 課題研究の指導の工夫

本校では課題研究活動のルーブリックを作成し、ディベート、「移民マップ」、論文など、すべての課題研究活動でルーブリックを用いた評価を行い事業の改善を進めている。

3 成果の普及

課題研究活動の成果の普及は、校内・校外での発表会において実施している。校外では西宮市立西宮浜中学校において英語劇を通して課題研究活動の成果普及を行っている。

4 高大連携および特色ある取組

関西学院大学、立命館大学、神戸大学、神戸市外国語大学、兵庫県立大学など多くの大学と連携し課題研究活動を実施している。他に、本校は移民政策学会と連携し、学会において本校生が課題研究の成果を発表している。平成27年度から令和元年まで12人が学会発表を実施した。